

患者に寄り添う医療実践

山陽新聞賞 岡山で受賞祝賀会
磯崎 氏

磯崎博司先生 山陽新聞賞受賞祝賀会



祝賀会で謝辞を述べる磯崎氏

わなければならず、その難しさと厳しさを知った。支援をいただいた皆さまに感謝を申し上げたい」と謝辞を述べた。

磯崎氏は岡山大医学部を卒業後、大阪医科大学大助教授、岡山大医学部助教教授などを歴任。消化器外科医として胃、大腸がんなど多数の手術を手掛けた。2012年には、がん撲滅への功績をたたえる山陽新聞社会事業団の松岡良明賞を受賞した。(岸研一)

おおもと病院(岡山を述べた。

北市区大元)院長の磯崎博司氏(66)≡同鹿田町Ⅱの第73回山陽新聞賞(社会功労)受賞祝賀会が28日、岡山市のホテルで開かれた。

医療関係者や友人ら約130人が出席した。発起人を代表し、

越宗孝昌山陽新聞社会長が「術後の生活の質を大切にし、患者に寄り添った医療を実践した」とあいさつ。石川絃真医師会長らが祝辞